

令和4年度 滋賀医科大学「数理・データサイエンス・AI教育プログラム（リテラシーレベル）」に係る自己点検・評価書

No.	点検項目	点検結果	評価結果	評価
1	履修数を把握・分析し、向上に向けた計画の達成・進捗状況を確認しているか。	教育プログラムに履修者数が少ない選択科目を含んでいたため、教育プログラムに含む授業科目の見直しを行い、プログラムの履修率改善を図った（令和4年度入学生履修率100%（休学者除く））。	履修数を把握して、履修数・授業科目の分析および改善を行い、履修率が100%（休学者除く）であることが確認されている。	A
2	学生の学修支援体制は整っているか。	本プログラムに係る科目について、「オフィスアワー（相談体制）」を設け、授業内容や勉強方法等の学生からの質問・相談に対応できる体制を構築できている。	本プログラムの全ての科目のシラバスに「オフィスアワー（相談体制）」が記載されており、学修の支援体制が整えられている。	A
3	シラバスへの記載（到達目標、成績評価等）がなされ、予め開示された方法及び基準に基づき、評価が行われているか。	各授業科目のシラバスに記載した評価方法において適切に評価が実施されている。	シラバスへ学修目標、評価方法が記載されており、開示された方法および基準に従って、評価が行われている。	A
4	授業評価アンケート等の結果を参考に、プログラム内容（授業の計画、教育方法、評価方法等）の改善を図っているか。	各科目で学生の満足度調査を行っており、概ね良好であった。また、満足度の低い科目は対象教員へヒアリングのうえ、改善を図っている。さらに、プログラムの継続的な改善計画に関して審議を行う「数理・データサイエンス・AI教育検討専門委員会」を設置し、プログラム内容の改善に関する体制を強化した。	「数理・データサイエンス・AI教育検討専門委員会」が設置され、本プログラムの改善の検討がなされ、対応が進められている。	A
5	プログラム修了者の進路状況等を把握し、就職先等から意見を聴取しているか。	令和5年3月時点で本教育プログラムの修了者はいない。		
6	評価結果を学内及び社会に対して、広く公開しているか。	令和4年度の本プログラムに関する自己点検・評価結果を以下のURLに公開を予定している（以下のURLを参照）。 https://www.shiga-med.ac.jp/education-and-support/distinctive-programs#suuri	自己点検・評価結果について、本学のホームページへ公開が予定されている。	A

※…各評価は、左記の区分にて判定 【S：『優れた点』があり、十分に行われている。／A：概ね行われており、相応である。／B：改善の必要がある。】